

第14回 テーマ 「素敵な教員になるために」

- ・期 日 平成23年12月16日(金)1、2時限
- ・受講者 学生 13人 (4年次12人、大学院生1人)
- ・学部教員 井門正美教授(教職実践演習実施委員会委員長)、阿部 昇教授
河又邦彦准教授
- ・担当教員 神居 隆特任教授、斎藤 孝客員教授、石橋研一客員教授

外部講師の紹介

外部講師である前県教育次長・本学北秋田分校の濱田純校長の紹介等(斎藤客員教授)

講義「素敵な教員になるために」

北秋田分校・濱田校長が、テーマに基づき、自身がこれまでの長年にわたる教員生活の中で体験したことや気づかされたことなどについて次のような具体例を紹介しながら、教員としての在り方について話した。

- ・附属養護学校(現・特別支援学校)の子どもたちと指導上の工夫について
- ・小学校における実践で培ったこと
- ・授業研究会で体験したこと
- ・子どもに対する接し方等について

まとめとして、教師は教員生活を通じて常に研究と修養に努めることが大切であることを述べた。

リフレクションノートから

・「子どもは興味や関心がないと動かない」という言葉が印象に残った。特別支援学校の子どもは興味や関心の幅が狭く、学んでほしいこととどう結びつけていくのかということが重要であると思った。

・実際のな学校のお話を聞いて、「自分ならどうするだろう」と考えながら聞くことができた。

・教師には嬉しいことだけでなく、悲しいこともあると思うが、感情をなくすのではなく、「冷静にコントロールする」ことが大事であると感じた。

